

令和4年産かんしょの作付面積及び収穫量

－かんしょの収穫量は、前年産に比べ6%増加－

【調査結果の概要】

1 作付面積

全国の作付面積は3万2,300haで、前年産並みとなった。

2 10a当たり収量

全国の10a当たり収量は2,200kgで、前年産を6%上回った。

これは、おおむね天候に恵まれ、いもの肥大が順調に進んだことや、鹿児島県、宮崎県において、サツマイモ基腐病の被害が、抵抗性品種への切替えや防除対策により減少したことによる。

なお、10a当たり平均収量対比は100%となった。

3 収穫量

全国の収穫量は71万700tで、前年産に比べ3万8,800t（6%）増加した。

図1 かんしょの作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移（全国）

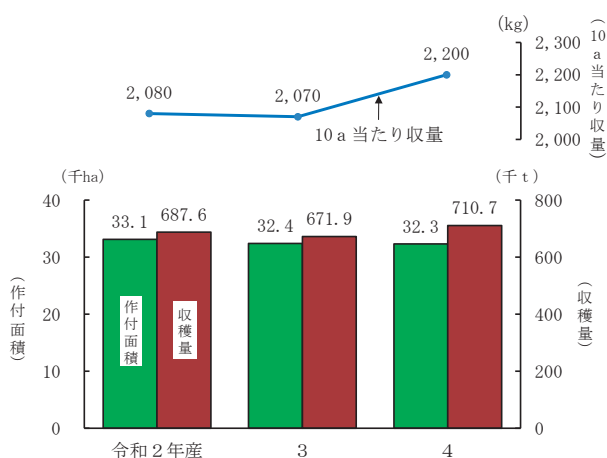
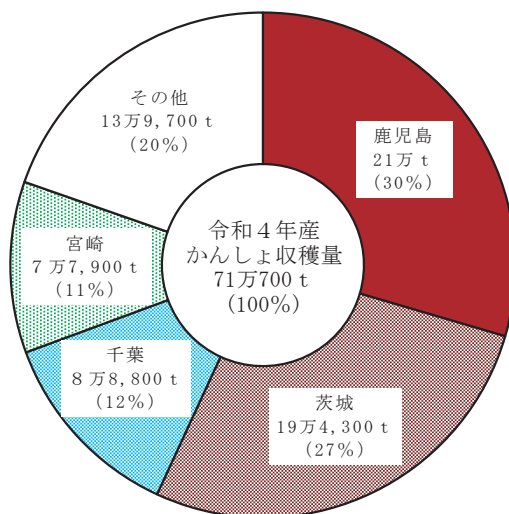


図2 令和4年産かんしょの都道府県別収穫量及び割合



※令和5年2月7日に農林水産省大臣官房統計部から発表された資料から抜粋・編集している。詳細は、同省のホームページ「統計情報の」以下のURLに掲載されている。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y11 】